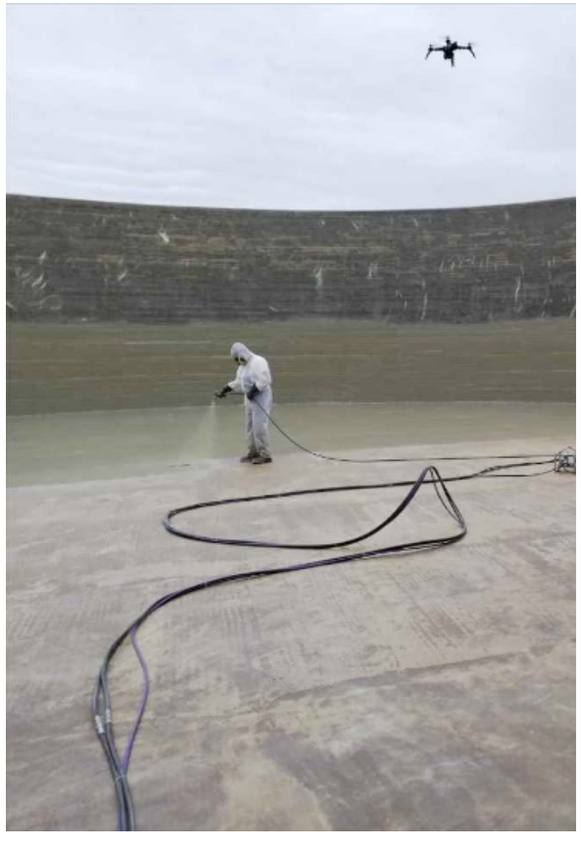
マスターシール 7000CR バイオガスプラント向け



概要

イタリア・レガルブートでは、総面積約 7,850 m^2 の 330 kW のバイオガスプラントが新設されました。このプラントでは、オリーブの搾油工程の副産物であるオリーブの搾りかす（皮、パルプ残、ピット破片）の処理からバイオガスを生成します。この工事の目的は、酸素のない嫌気性環境で発生する生物由来の硫酸腐食からコンクリートを保護し、プラントの耐久性を確保することで、生産効率を低下させる特別なメンテナンスのためのダウンタイムを制限することにあります。

ソリューション

マスターシール 7000 CR と マスターシール 6310 システムを使用することで、酸素のない嫌気性環境で発生する生物由来の硫酸腐食からコンクリートを保護し、プラントの耐久性を確保し、生産効率を低下させる特別なメンテナンスのためのダウンタイムを制限することができます。

システム概要

新設された総面積約 2850 m^2／出力 330 kW のバイオガスプラント内の 4 つの嫌気性消化設備にて、マスターシール 7000 CR 防水保護システムを施工しました。同じプラントにある 3 つの残廃物貯蔵タンクには、さらに約 5000m^2 の表面積に対してマスターシール 6310 防水保護システムを使用しました。

お客様へのメリット

マスターシール 7000 CR と 同 6310 システムによる防水＆保護処理を実施することで、バイオガスプラントにおいて生産効率を低下させるメンテナンス作業による工場稼働停止時間を削減します。

場所： イタリア　レガルブート

製品： マスターシール 7000CR, マスターシール 6310 システム

施工面積： 7850m^2